



2022年3月期 第1四半期決算
(2021年4月1日～2021年6月30日)

決算補足説明資料

2021年7月30日

デジタルアーツ株式会社
(証券コード 2326)

- **連結決算ハイライト**
- **単体決算ハイライト**
- **市場別詳細**
- **2022年3月期 通期業績予想**
- **2022年3月期の取組み**
- **2022年3月期 株主還元**

2022年3月期 第1四半期決算補足説明資料

連結決算ハイライト

① 契約高・売上高は共に1Qとして過去最高を達成

- 契約高は 1,979百万円 (前年同期比+35.3%)
- 連結売上高は 1,919百万円 (前年同期比+35.7%)

② 営業利益も1Qとして過去最高を達成

- 営業利益は 731百万円 (前年同期比+50.8%)

契約高

1,979百万円

(前年同期比+517百万円 / +35.3%)

- 公共向け市場においてGIGAスクール構想でi-FILTERシリーズの受注増加
- DACにおいて新規顧客獲得による受注増加

売上高

1,919百万円

(前年同期比+505百万円 / +35.7%)

- 企業のテレワークの普及と学校のGIGAスクール構想でi-FILTERシリーズの受注獲得により売上拡大
- DACの新規顧客獲得による売上拡大

営業利益

731百万円

(前年同期比+246百万円 / +50.8%)

- 売上原価はクラウドサービス利用者増加によるサーバー費用が増加
- 販管費は社員数の増加およびパートナー向けオンラインイベント開催などにより増加

(単位：百万円)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	2022年3月期 通期業績予想	通期 進捗率
契約高	1,463	1,979	+35.3%	-	
売上高	1,413	1,919	+35.7%	8,700	22.1%
売上原価	427	613	+43.5%	2,700	22.7%
売上総利益	986	1,305	+32.4%	6,000	21.8%
販売管理費	501	574	+14.6%	2,300	25.0%
営業利益	485	731	+50.8%	3,700	19.8%
営業利益率	34.3%	38.1%	-	42.5%	
経常利益	489	732	+49.8%	3,700	19.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	334	506	+51.6%	2,550	19.9%
EBITDA	716	966	+34.8%	-	

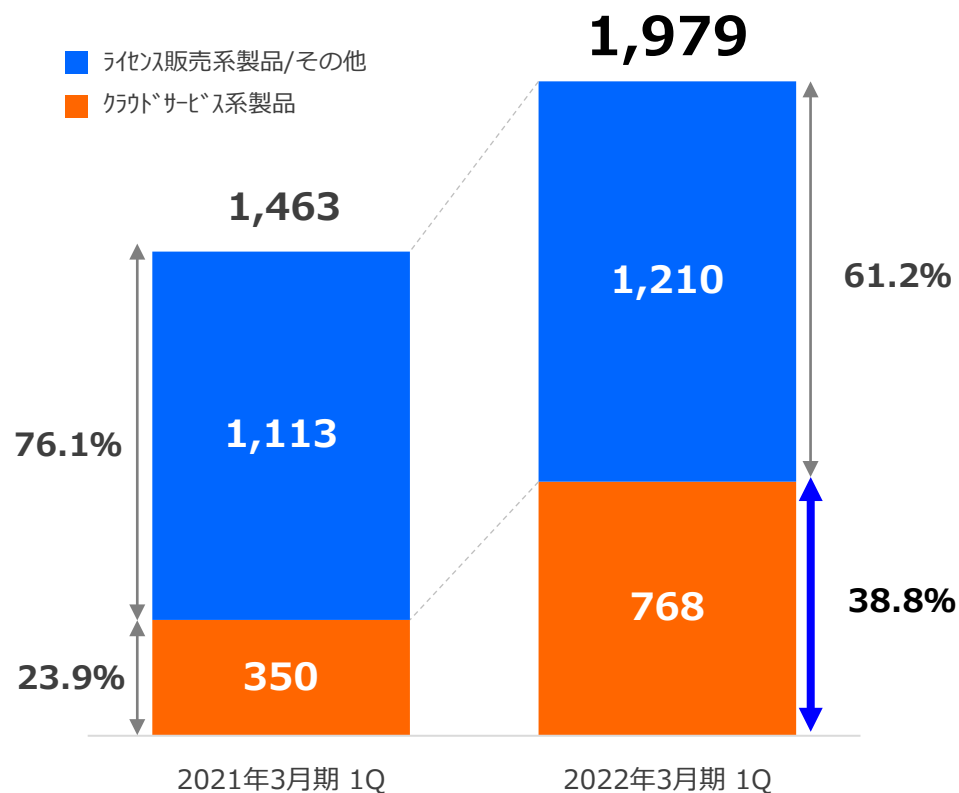
※ 「業績予想」は2021年5月7日公表の連結業績予想

※ EBITDA= 営業利益+減価償却費+営業費用に含まれる税金費用

クラウドサービス系製品の契約比率が38.8%へ増加

契約高の推移

(単位：百万円)



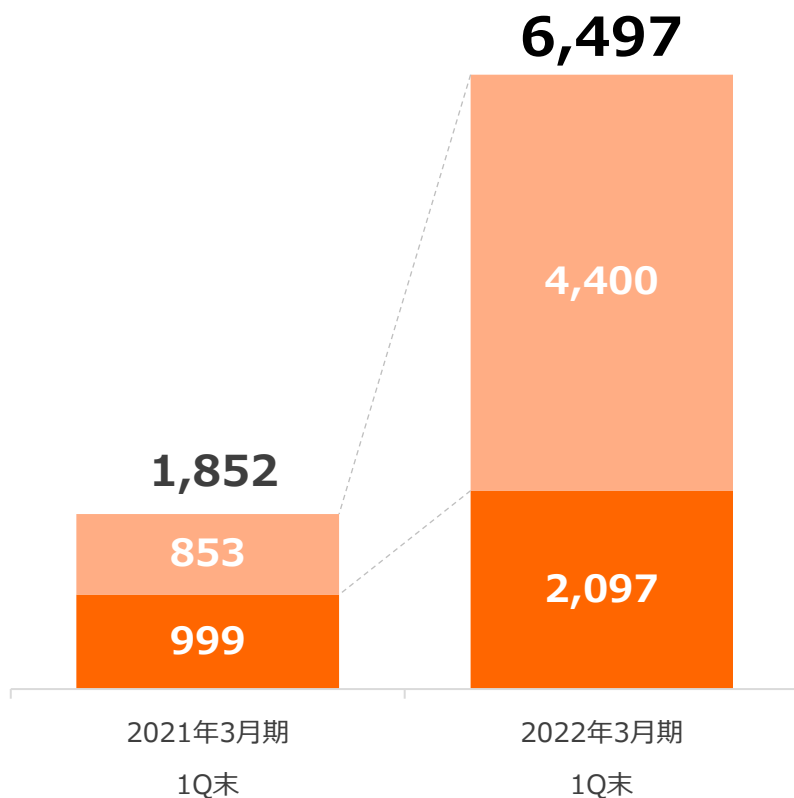
- クラウドシフトが進み、契約高に占めるクラウドサービス系製品の割合が、前年同期23.9%から**当期38.8%**に増加

クラウドサービス系製品の契約比率が高まったことにより 受注残高は6,497百万円に増加

受注残高の推移

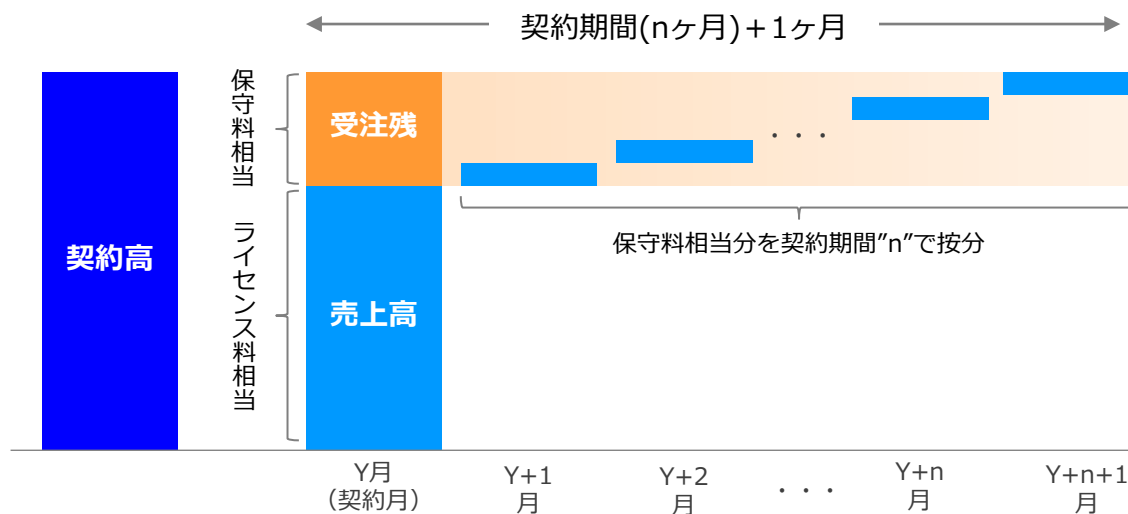
(単位：百万円)

- 翌期以降売上計上
- 当2Q～4Q売上計上



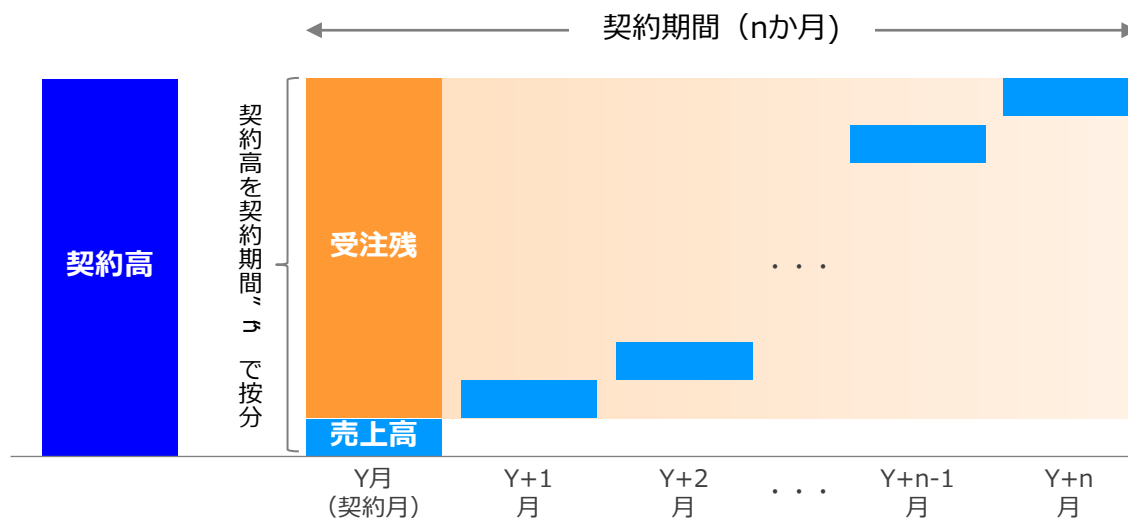
- クラウドサービス系製品は、短期間の売上計上額が小さくなるため、**契約高に対して翌期以降に繰り延べられる売上高（受注残）が増加（P.9補足ご参照）**
- クラウドサービス系製品の契約単価は、将来の契約更新時において**契約単価が一定**（ライセンス販売系製品は更新時に契約単価が半額）となるため、**ストック型ビジネスモデルによる安定した収益基盤が拡大**

ライセンス販売系製品



- 契約高のうち大部分を占めるライセンス料相当分を契約月に一括売上計上
- 保守料相当分は契約期間で除した金額で按分計上

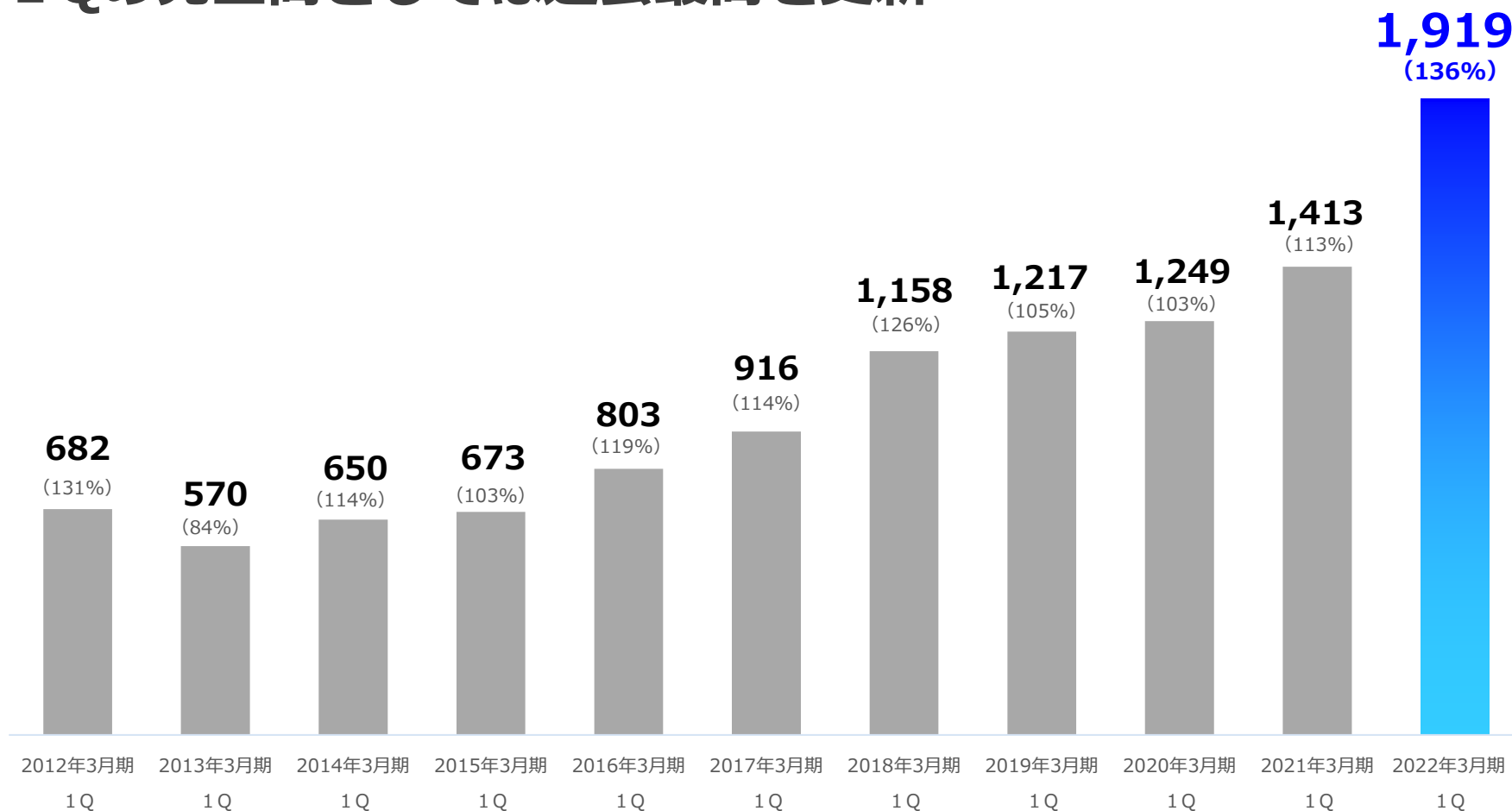
クラウドサービス系製品



- 契約高を契約期間で除した金額 (月額按分) で売上計上
- クラウドサービス系製品の契約高が増加すると、繰り延べられる契約高 (受注残) が増加

企業向け・公共向け市場の好調により、 1Qの売上高としては過去最高を更新

(単位：百万円)



※ ()内のパーセンテージは前年同期比

連結売上原価と販売費及び一般管理費の状況

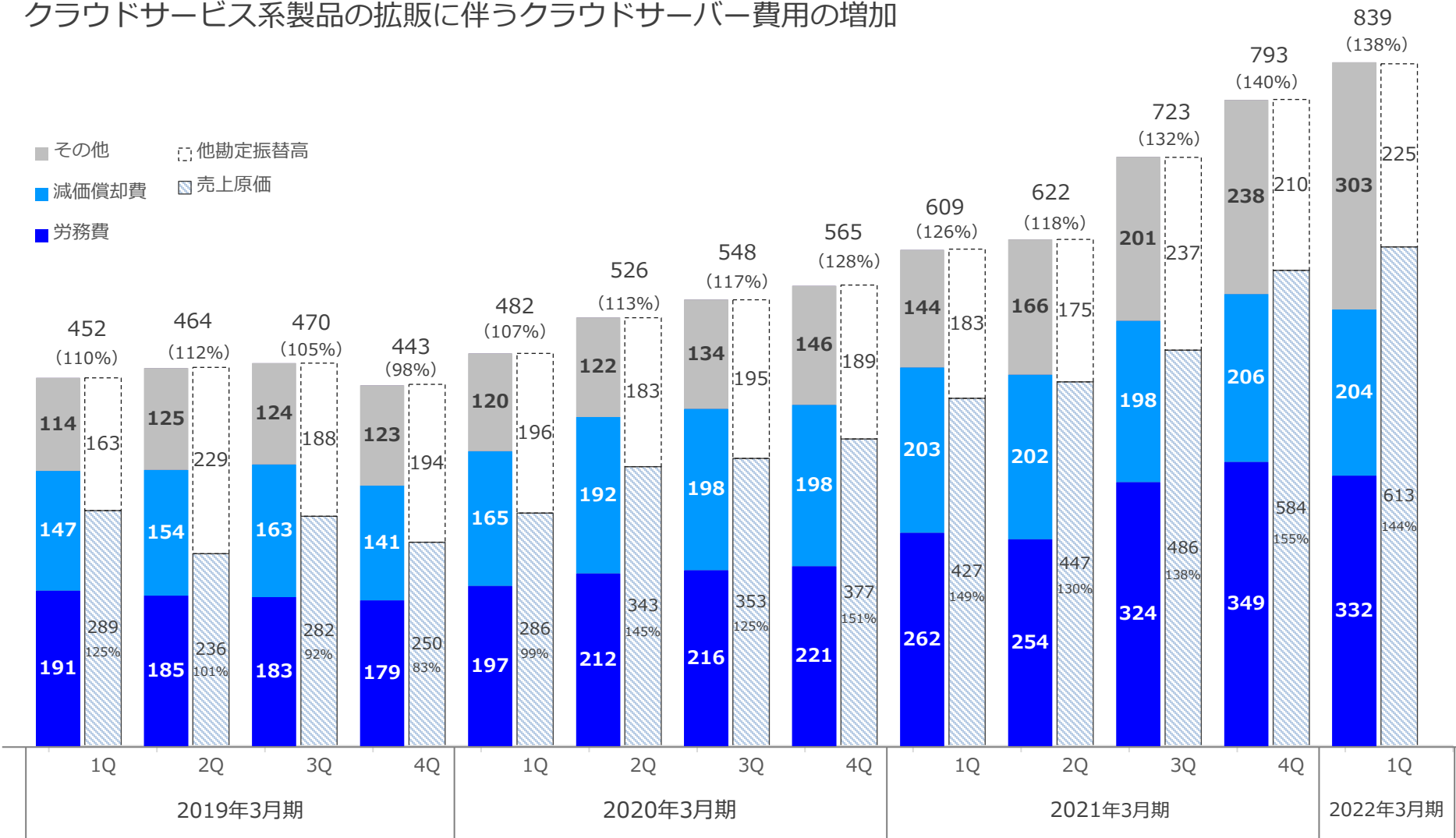
(単位：百万円)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	主な増減要因
売上原価	427	613	+186	
労務費	262	332	+69	DACのコンサルタント人員増強
減価償却費	203	204	+1	
その他	144	302	+157	クラウド製品拡販に伴うサーバー費用の増加 DACの受注案件増加に伴う外注費用の増加
他勘定振替	△183	△225	△42	開発プロジェクトの増加に伴うソフトウェア 仮勘定への振替高の増加
販売費及び一般管理費	501	574	+73	
人件費	272	323	+50	新卒社員の入社による増加
広告宣伝費	32	59	+26	パートナー向けオンラインイベント開催により増加
その他	195	191	△4	

連結売上原価 四半期推移

(単位：百万円)

DACのコンサルタント人員増強に伴う労務費の増加

クラウドサービス系製品の拡販に伴うクラウドサーバー費用の増加



※ パーセンテージは前年同期比

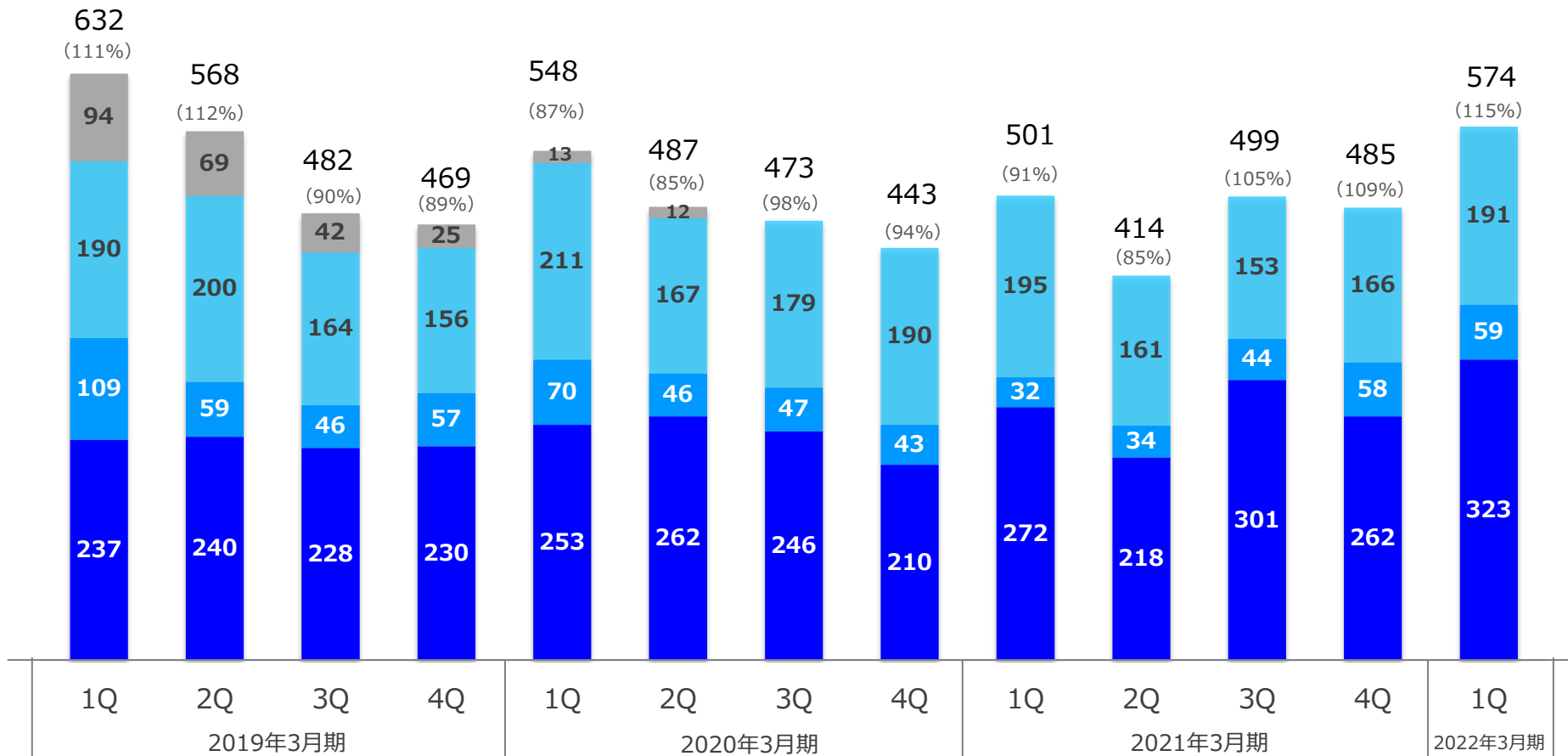
連結販売費及び一般管理費 四半期推移

新卒社員入社に伴う人件費の増加

パートナー向けオンラインイベント開催により広告宣伝費の増加

■ 人件費 ■ 広告宣伝費 ■ その他 ■ 海外費用

(単位：百万円)



※ ()内のパーセンテージは前年同期比

ROEおよびROAともに前年同期比較で改善し、資本効率は良好
前受金の増加により、自己資本比率は減少したが財務健全性は高く保持

(単位：百万円)	2021年3月期 第1四半期末 残高	2021年3月期 期末 残高	2022年3月期 第1四半期末 残高	前期末 増減率
流動資産	8,671	12,725	14,344	+12.7%
(うち現金及び預金)	7,609	11,382	13,133	+15.4%
固定資産	2,097	2,130	2,132	+0.1%
総資産	10,769	14,856	16,476	+10.9%
流動負債	2,067	4,743	6,269	+32.2%
(うち前受金)	1,310	3,370	5,236	+55.3%
固定負債	49	50	50	+0.0%
自己資本	8,635	10,041	10,137	+1.0%
純資産	8,652	10,062	10,157	+0.9%
自己資本比率	80.2%	67.6%	61.5%	-
ROE	3.9%	22.0%	5.0%	-
ROA	3.1%	16.0%	3.2%	-

2022年3月期 第1四半期決算補足説明資料

単体決算ハイライト

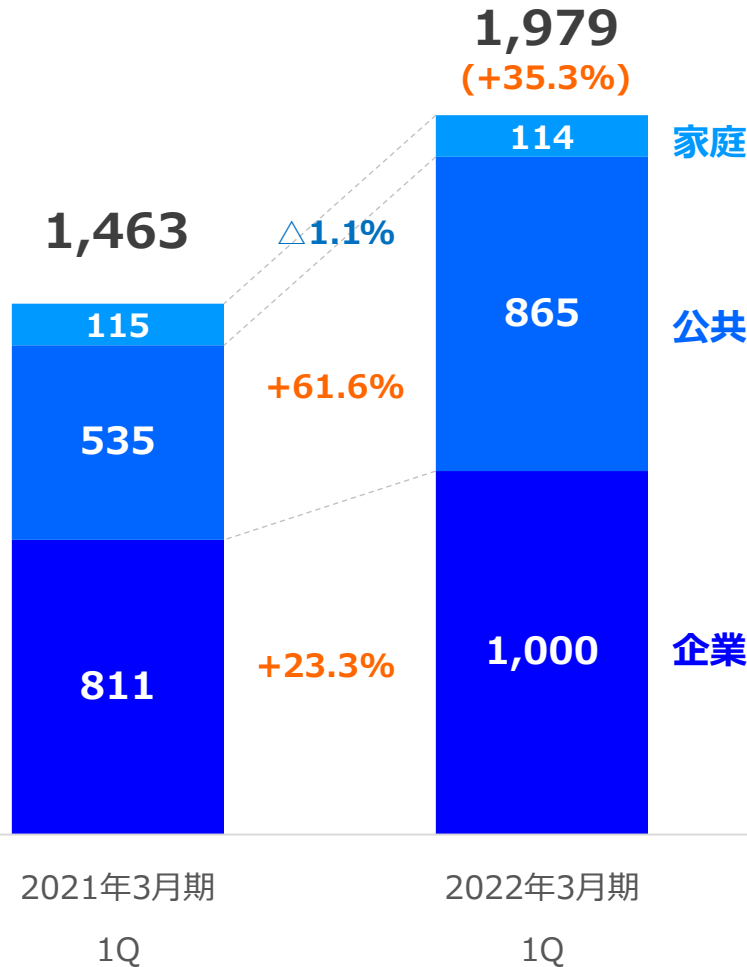
(単位：百万円)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	2022年3月期 通期業績予想	通期 進捗率
契約高	1,337	1,715	+28.3%	-	
売上高	1,287	1,655	+28.5%	7,450	22.2%
売上原価	310	385	+24.1%	1,700	22.7%
売上総利益	977	1,269	+29.9%	5,750	22.1%
販売管理費	455	539	+18.4%	2,150	25.1%
営業利益	522	730	+39.9%	3,600	20.3%
営業利益率	40.5%	44.1%	-	48.3%	
経常利益	526	733	+39.3%	3,600	20.4%
当期純利益	368	506	+37.4%	2,450	20.7%

※ 「業績予想」は2021年5月7日公表の個別業績予想

2022年3月期 第1四半期決算補足説明資料

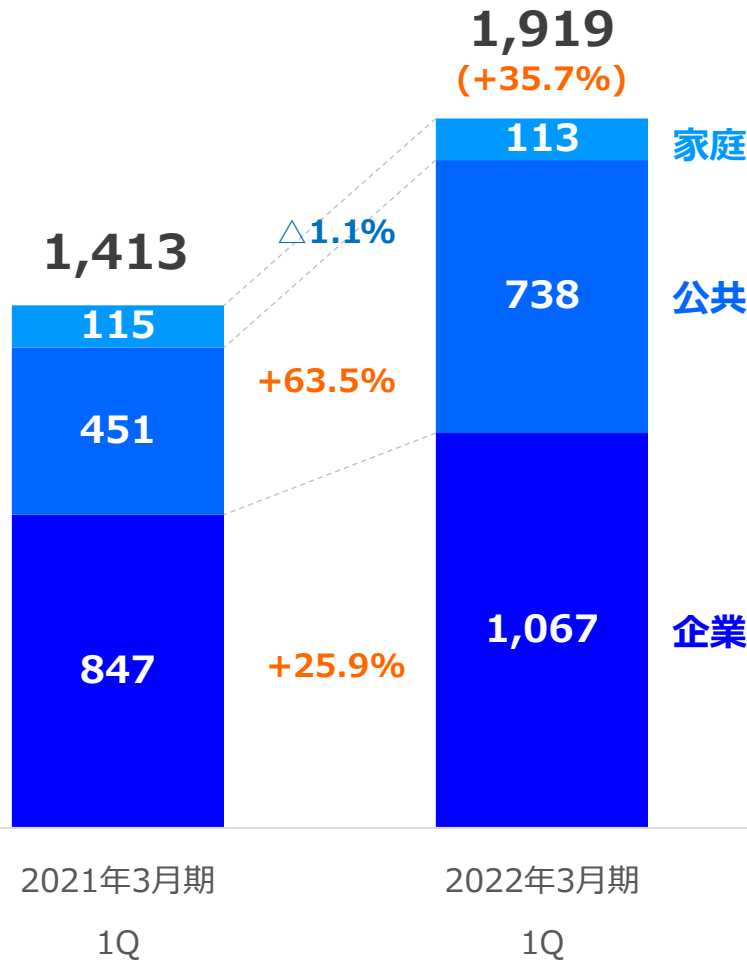
市場別詳細

(単位：百万円)



- 企業向け市場は、i-FILTER・m-FILTERシリーズの受注とDACの成長により188百万円（23.3%）の増加
- 公共向け市場は、引き続き「GIGAスクール構想」におけるi-FILTERシリーズの受注が想定を上回ったことで329百万円（61.6%）の大幅増

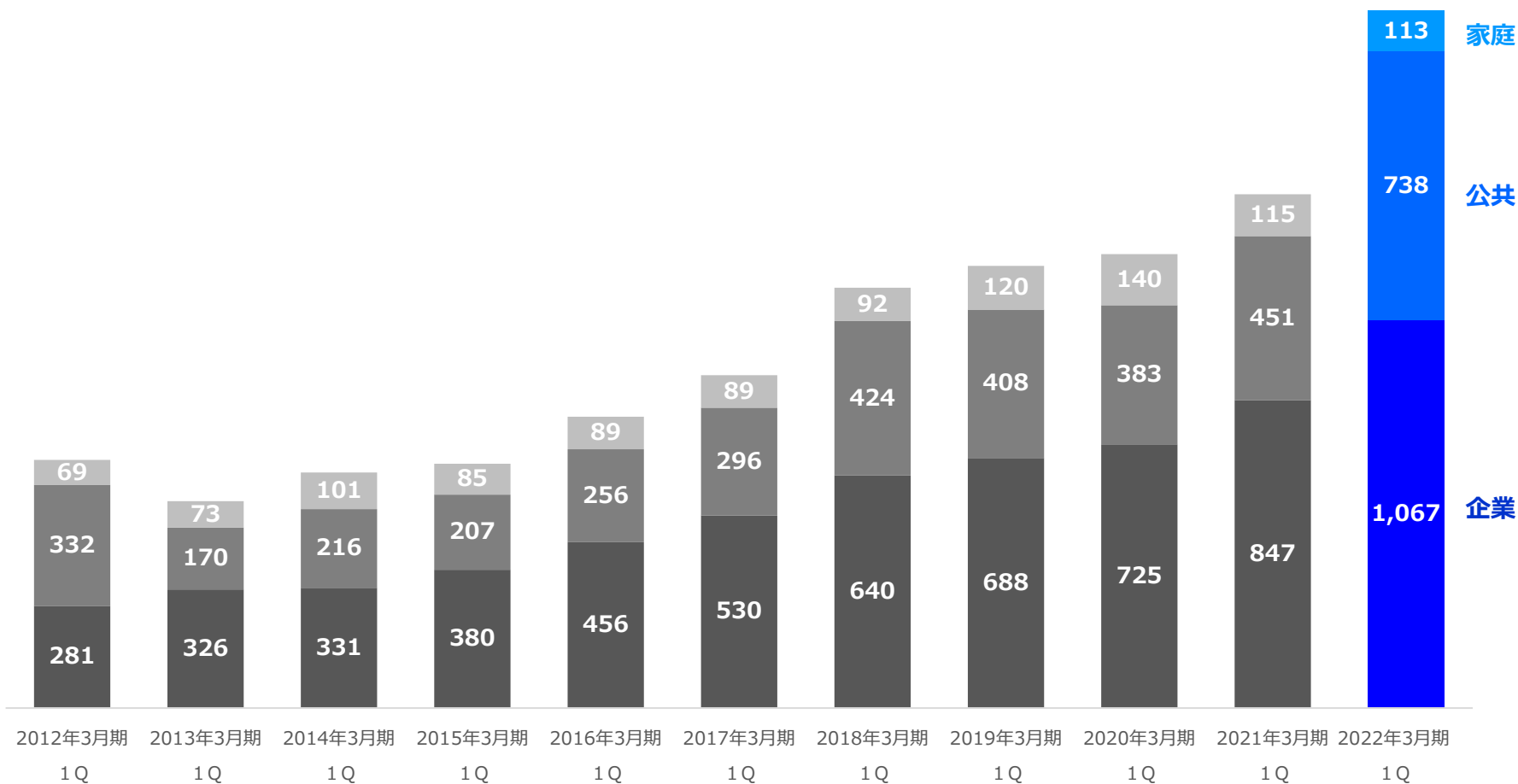
(単位：百万円)



- 企業向け市場は、i-FILTERシリーズの受注とDACの成長により219百万円（25.9%）の増収
- 公共向け市場は、「GIGAスクール構想」におけるi-FILTERシリーズの受注により286百万円（63.5%）の増収

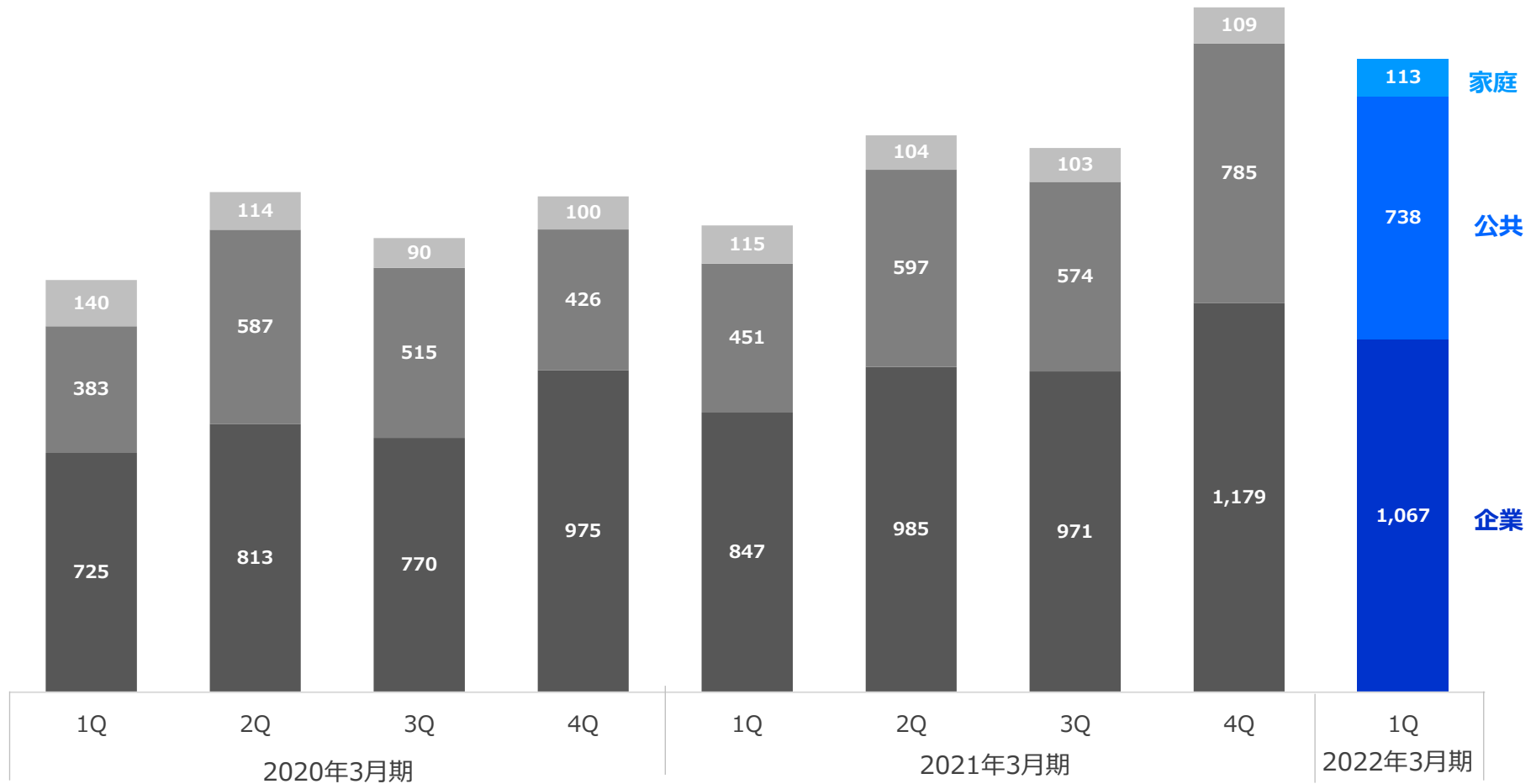
テレワーク普及・学校のICT教育促進が追い風となり、
 企業・公共向け市場いずれも、1Qの売上高として過去最高

(単位：百万円)



企業・公共向け市場が好調で、1Qの売上高として過去最高を達成

(単位：百万円)

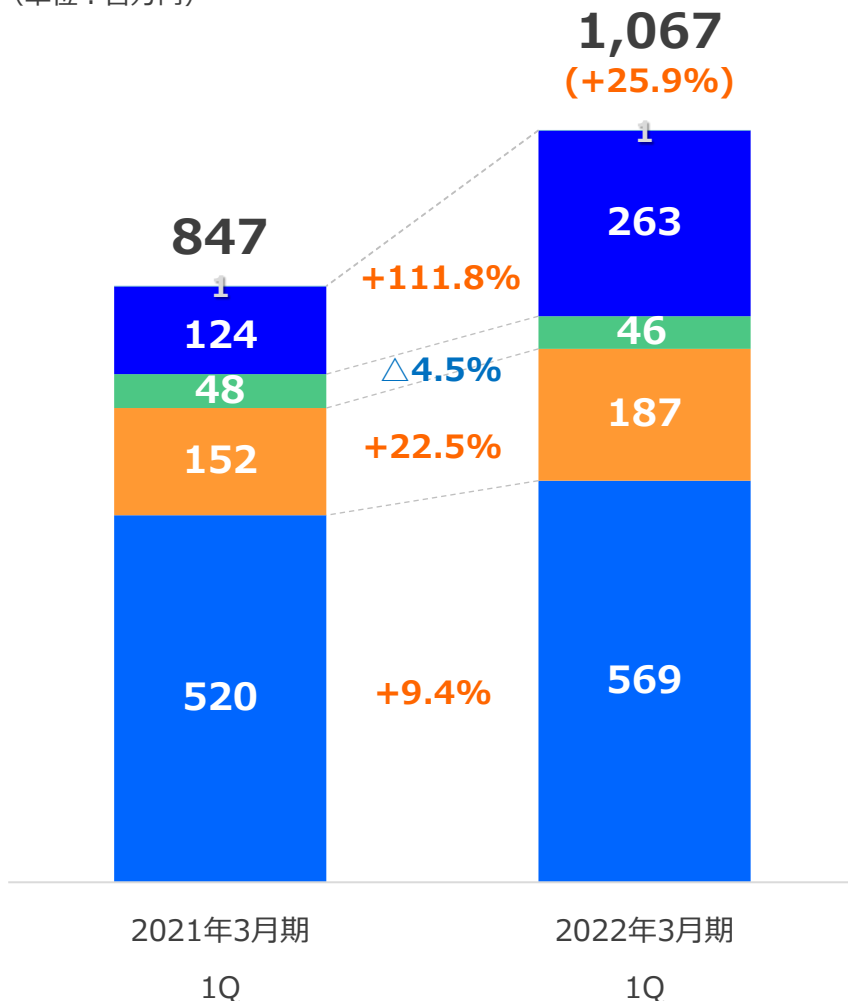


2022年3月期 第1四半期決算補足説明資料

企業向け市場

■ i-FILTER series ■ m-FILTER series ■ FinalCode ■ DAC ■ その他

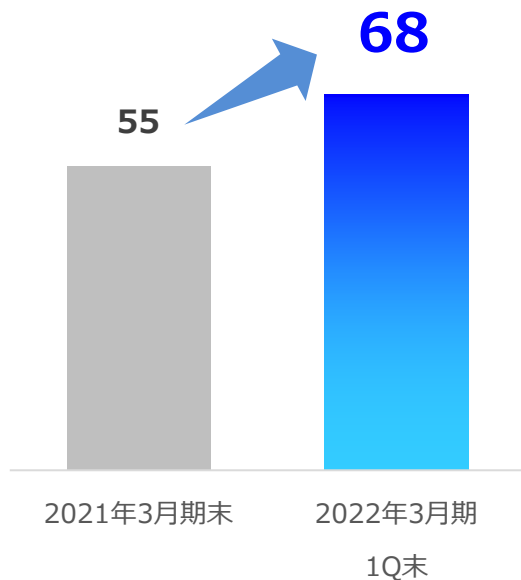
(単位：百万円)



- 企業のテレワーク普及によるWEBセキュリティ需要が高まり、i-FILTER@Cloudが好調に推移 (+48百万円/+9.4%)
- Mailセキュリティ需要の高まりと、PPAP問題解決のため、m-FILTERシリーズが好調に推移 (+34百万円/+22.5%)
- 企業のDXニーズとセキュリティ対策ニーズの高まりから、DACが新規顧客獲得を進め大きく成長 (+138百万円/+111.8%)

コンサルタント人員数

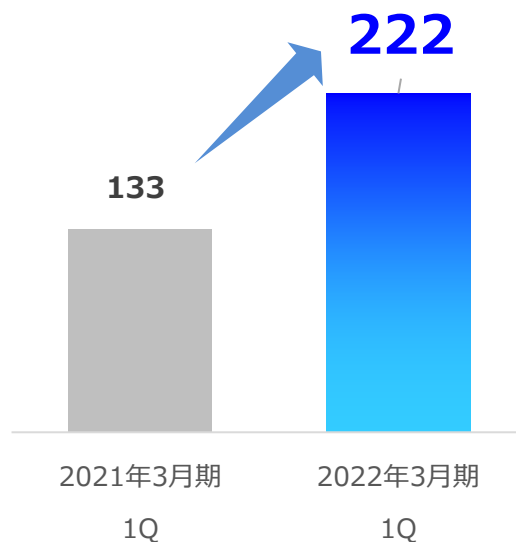
(単位：人)



- 大手コンサルティング会社/大手SIer出身者を中心に、優秀な人材を積極的に採用

コンサルティング売上*

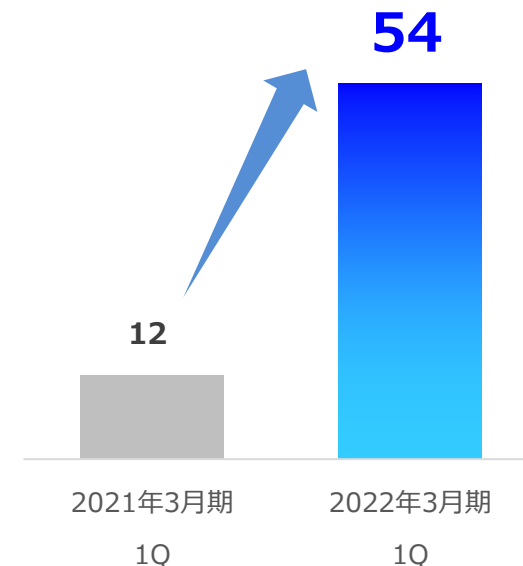
(単位：百万円)



- 新規顧客開拓が進み、前期比で166%に成長
- DX需要、サイバーセキュリティ対策需要に着実に対応

ソリューション売上*

(単位：百万円)



- デジタルアーツ製品を含めたソリューション販売も前期比で434%に大幅成長

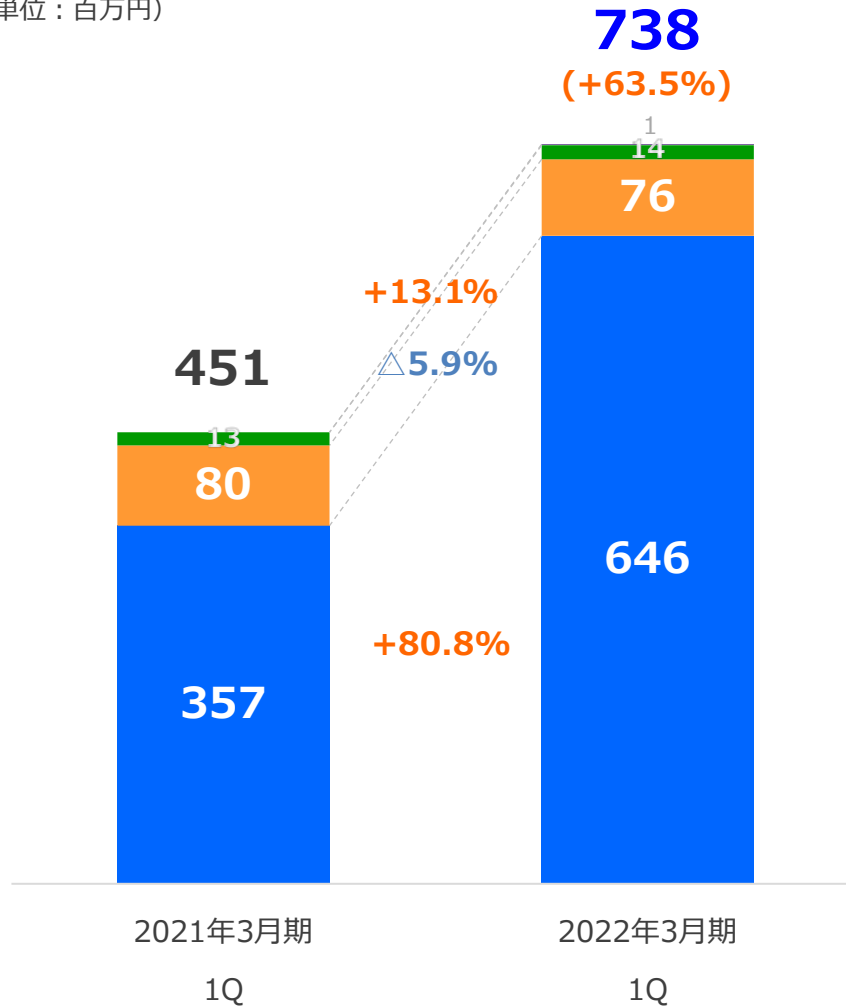
* : DAC単体の売上高

2022年3月期 第1四半期決算補足説明資料

公共向け市場

■ i-FILTER series ■ m-FILTER series ■ FinalCode ■ その他

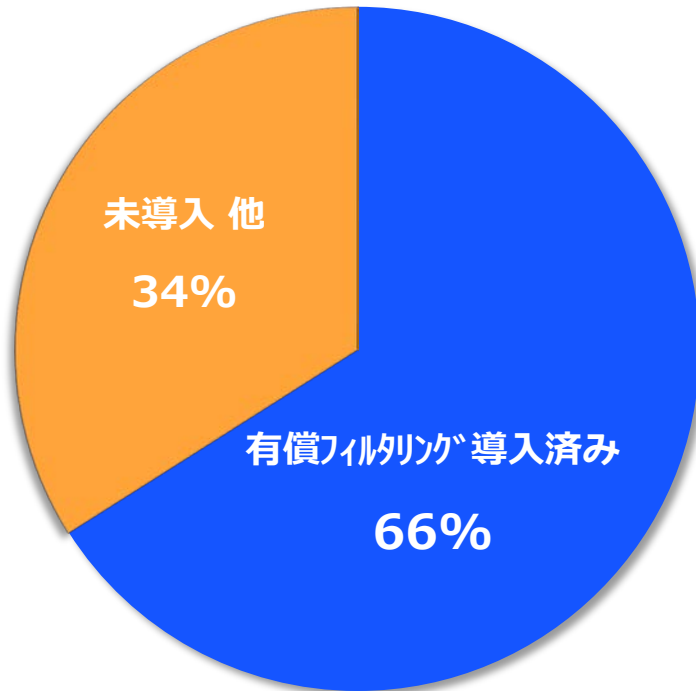
(単位：百万円)



- 前期から引き続き「GIGAスクール構想」におけるICT教育促進に伴う、i-FILTERシリーズの受注獲得により、288百万円（+80.8%）増加

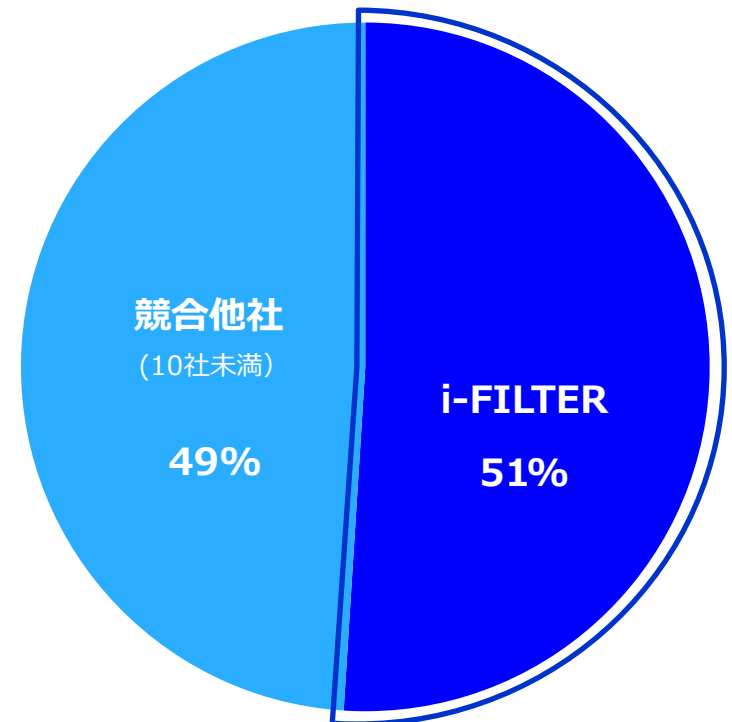
GIGAスクールの状況*1

有償フィルタリング導入状況



- 有償フィルタリング導入済みの教育委員会は前期末59%から**66%**に進捗

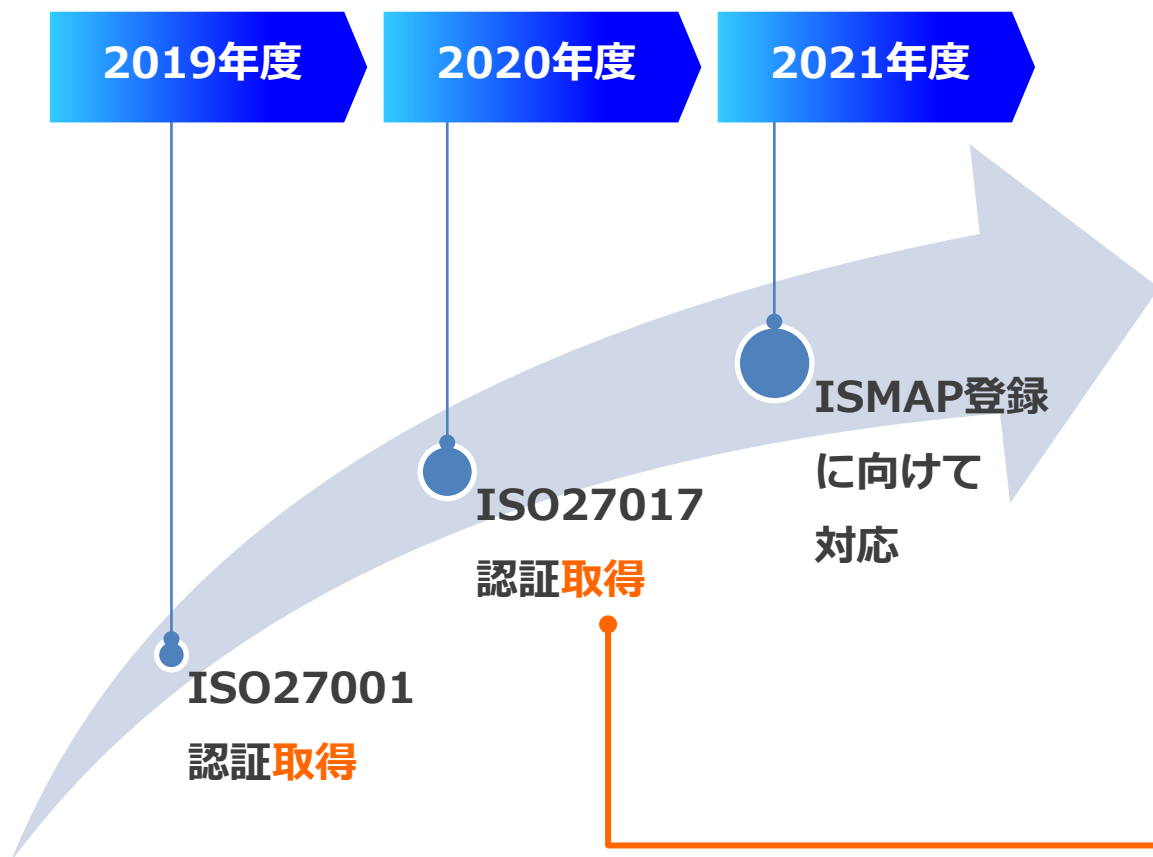
有償フィルタリング導入シェア



- i-FILTERのシェアは前期末46%から**51%**に拡大
- 契約高は前期末53億円から**58億円**に増加

*1 : 1,741教育委員会の当社調べ (2021年6月)

DigitalArts@Cloudは、
ISOが示すセキュリティ基準を満たすクラウドサービスとしての認証を取得



DigitalArts@Cloud

ISMAP = 政府が求めるセキュリティ要件を満たしているシステム（クラウドサービス）としての登録を目指す

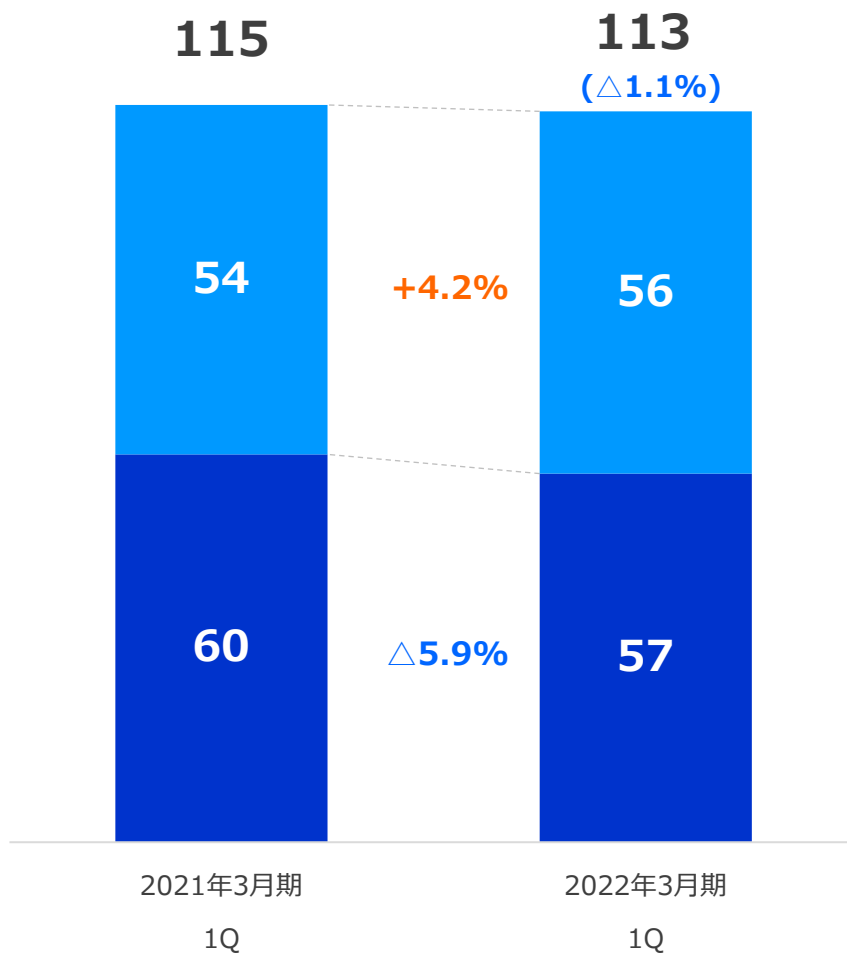
ISMAPのベースラインとも言えるISO27017の認証取得が完了

2022年3月期 第1四半期決算補足説明資料

家庭向け市場

(単位：百万円)

■ モバイル版他 ■ PC版



- PC版は複数年パッケージ製品や複数端末で利用可能な「i-フィルターforマルチデバイス」の販売が堅調に推移し、ライセンス数が増加

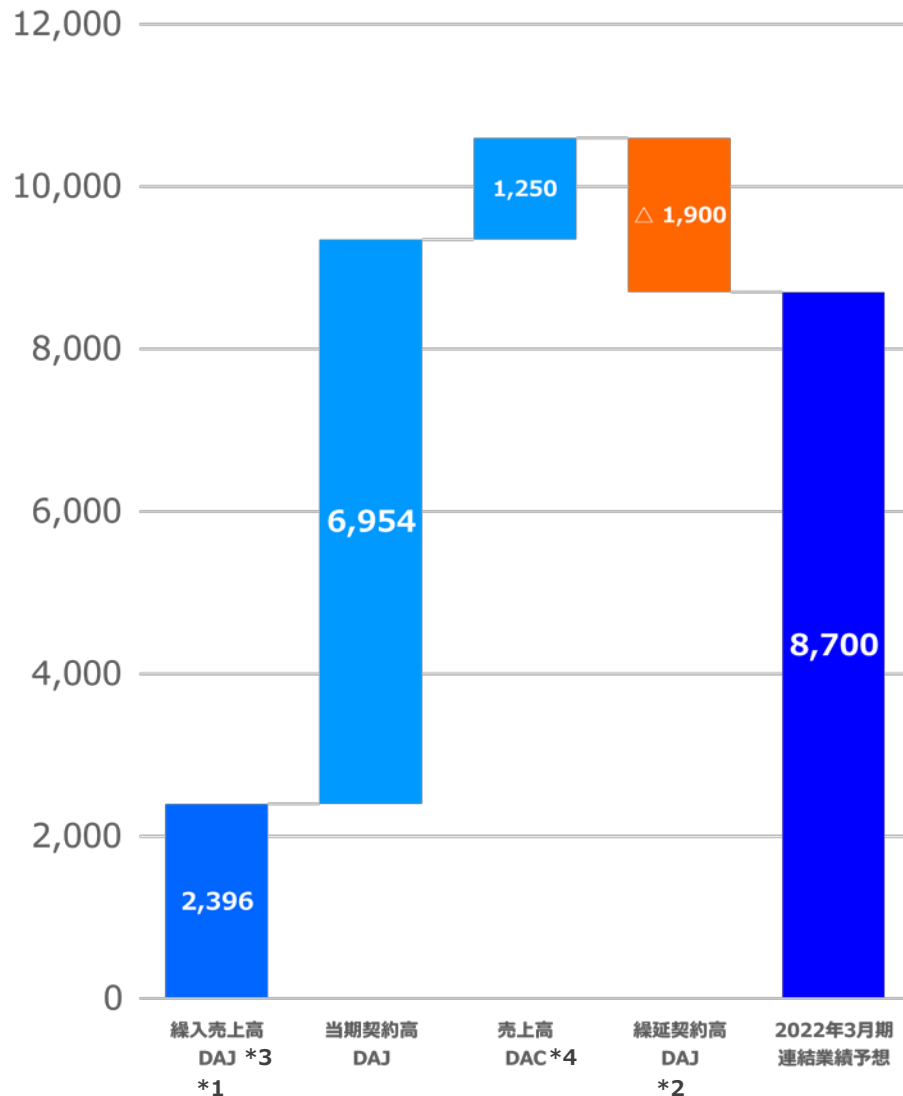
2022年3月期 第1四半期決算補足説明資料

2022年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)	2021年3月期 通期 実績	2022年3月期 通期 予想	増減率
売上高	6,825	8,700	+27.5 %
売上原価	1,946	2,700	+38.7 %
売上総利益	4,878	6,000	+23.0 %
販売管理費	1,900	2,300	+21.0 %
営業利益	2,977	3,700	+24.3 %
経常利益	2,991	3,700	+23.7 %
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,059	2,550	+23.8 %

(単位：百万円)	2021年3月期 通期 実績	2022年3月期 通期 予想	増減率
売上高	6,074	7,450	+22.6 %
売上原価	1,273	1,700	+33.5 %
売上総利益	4,801	5,750	+19.8 %
販売管理費	1,854	2,150	+15.6 %
営業利益	2,947	3,600	+22.2 %
経常利益	2,964	3,600	+21.5 %
当期純利益	2,044	2,450	+19.8 %

(単位：百万円)



- 公共の「GIGAスクール構想」において前期に獲得した契約高の影響で、当期の繰入売上高が増加
- DAJの当期契約高は、企業向けの拡販と公共向けの「GIGAスクール構想」の受注により、6,954百万円を見込む
- DACは前期に引き続き、コンサルタント人員を増強し、新規顧客獲得により成長する見込み

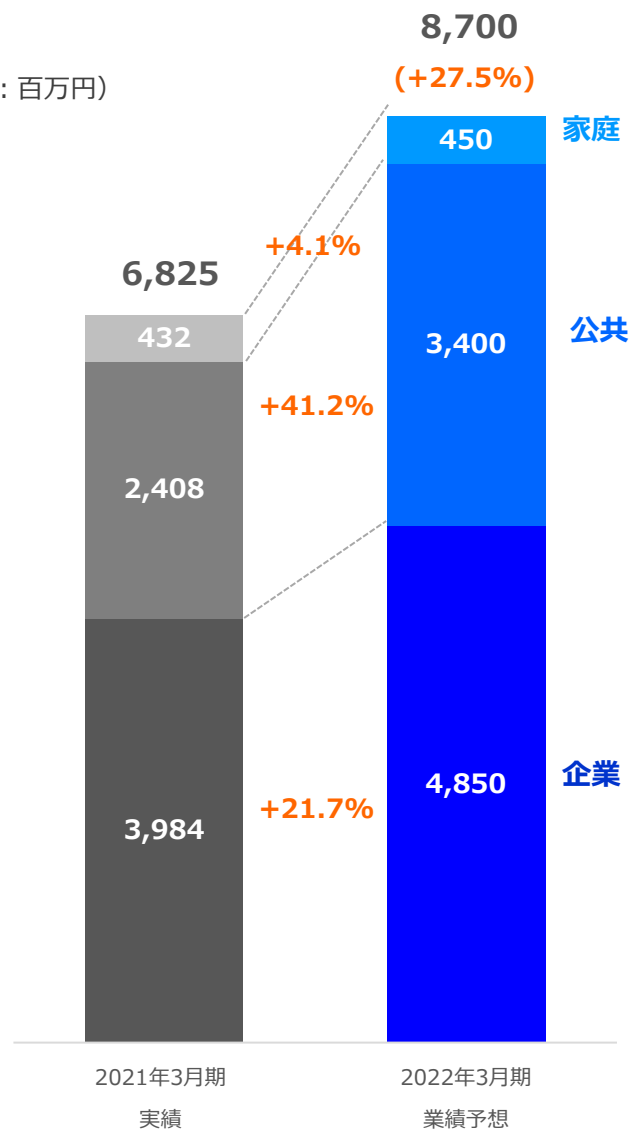
* 1 : 前期以前に獲得した契約高の受注残から当期に売上計上

* 2 : 翌期以降に繰り延べられて売上計上 (受注残)

* 3 : DAJ = デジタルアーツ株式会社

* 4 : DAC = デジタルアーツコンサルティング株式会社

(単位：百万円)



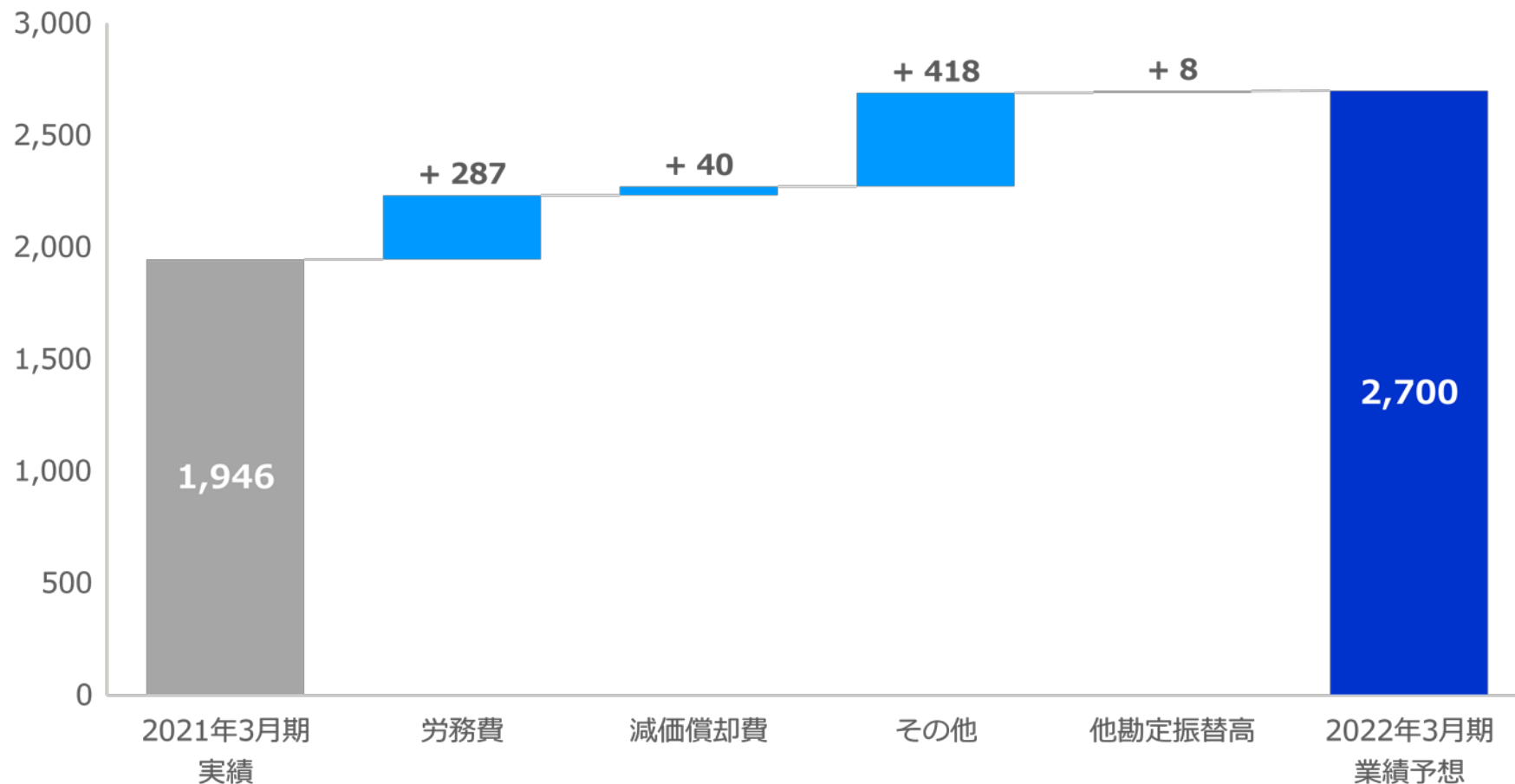
- 企業のセキュリティ対策として、デジタルアーツ製品のクロス活用推進による既存顧客の深耕と製品強化による新規顧客層の獲得
- DACの顧客へのデジタルアーツ製品の提案による受注増加
- 公共の「GIGAスクール構想」において前期に獲得した契約高の一部が当期に繰り延べられ売上計上
- 「GIGAスクール構想」の後半戦におけるシェア拡大と「自治体情報システム次期強靱化」への対応による受注

連結売上原価と販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 業績予想	前期比	主な増減要因
売上原価	1,946	2,700	+38.7%	
労務費	1,192	1,480	+24.1%	DACのコンサルタント人員増強
減価償却費	810	850	+4.8%	クラウド製品のソフトウェアの減価償却開始
その他	751	1,170	+55.7%	クラウド製品拡販に伴うクラウドサーバー費用の増加
他勘定振替	△808	△800	△1.0%	
販売費及び一般管理費	1,900	2,300	+21.0%	
人件費	1,055	1,330	+26.1%	新卒社員の入社による増加
広告宣伝費	168	200	+19.0%	新聞などのメディア広告の増加
その他	677	770	+13.6%	新型コロナウイルス感染症の影響緩和を想定し、旅費交通費等の増加 クラウド製品の試用に伴うサーバー費用の増加

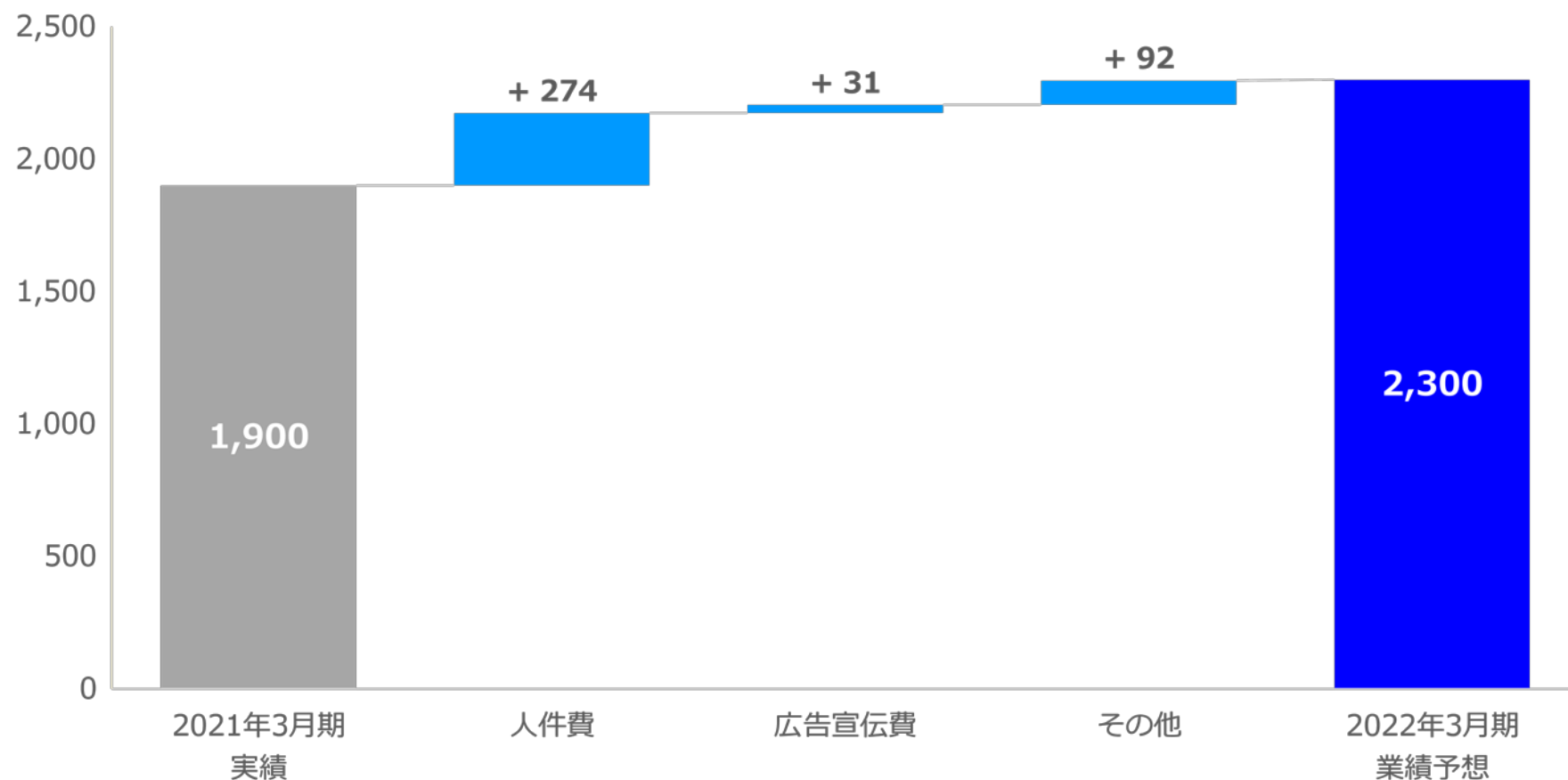
DACにおいてコンサルタント人員を増強するため、労務費の増加を見込む
 クラウド製品の拡販に伴い、「その他」のクラウドサーバー費用の増加を見込む

(単位：百万円)



人員増に伴う、人件費の増加を見込む

(単位：百万円)



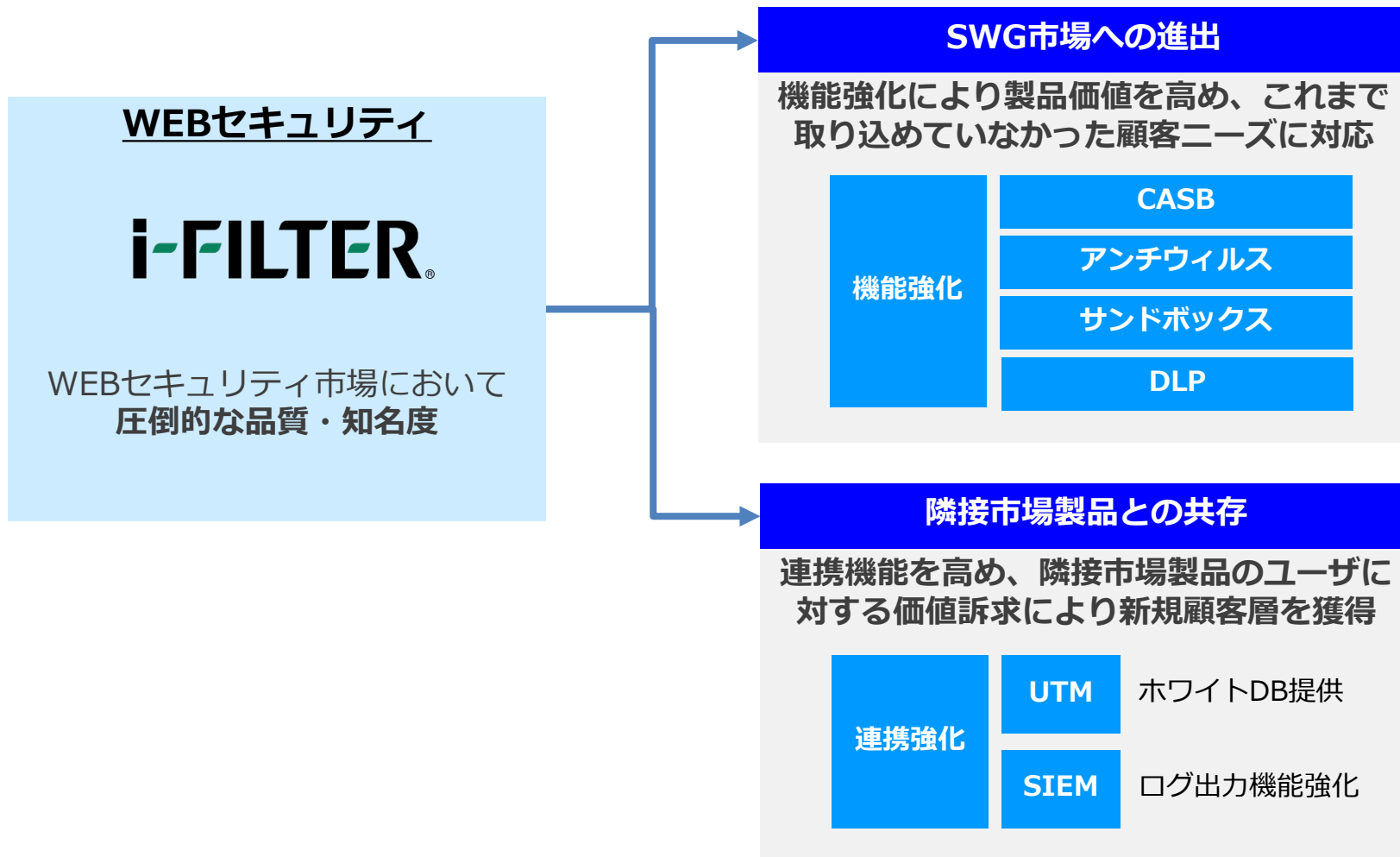
2022年3月期 第1四半期決算補足説明資料

2022年3月期の取組み

多くの顧客が直面している課題へのセキュリティ対策として、 デジタルアーツ製品のクロス活用を推進

<p>WEBセキュリティ</p>	<p>未知の脅威への対策</p> <p>WEB・メールを介したマルウェア感染を防ぐホワイト運用の実現</p> <p>v15の徹底訴求・verUP i-FILTER. m-FILTER. Ver.10 Ver.5</p> <p>@Cloudの機能拡充 </p>	
<p>メールセキュリティ</p>		<p>PPAP対策</p> <p>ファイルの授受をより効率的に、よりセキュアに実現</p>
<p>ファイルセキュリティ</p>		<p>情報漏洩対策</p> <p>i-FILTER. FINALCODE</p>
<p>WEB会議</p>		<p>ファイルパスワードの不要化</p> <p>m-FILTER. FINALCODE</p>
		<p>メール添付廃止への提案</p> <p>Desk@Cloud. FINALCODE</p>

i-FILTERはSecure Web Gateway (SWG市場) へ進出



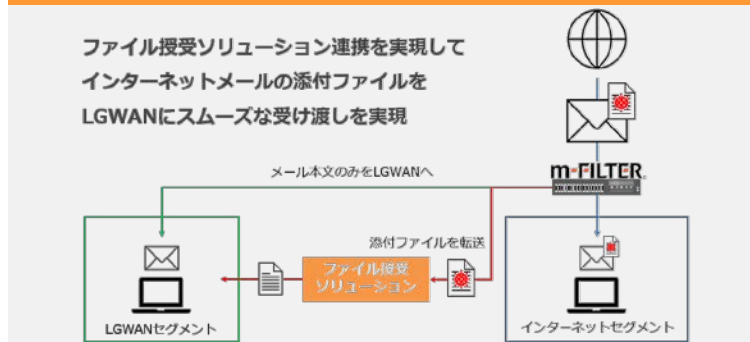
ファイル無害化ニーズにより確実な対応をするため、PPAP対策や自治体強靱化対策向けに機能強化し、ファイル授受/無害化ソリューションとの連携を強化し、幅広い顧客獲得を目指す

メールセキュリティ

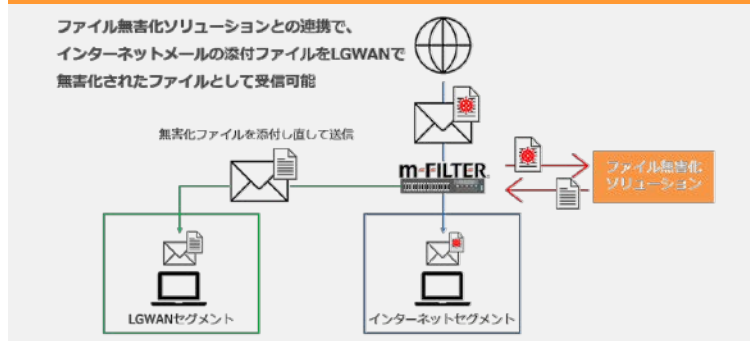
m-FILTER®

電子メールフィルタリングにおける
導入No.1ソフトウェア*

ファイル授受ソリューション連携

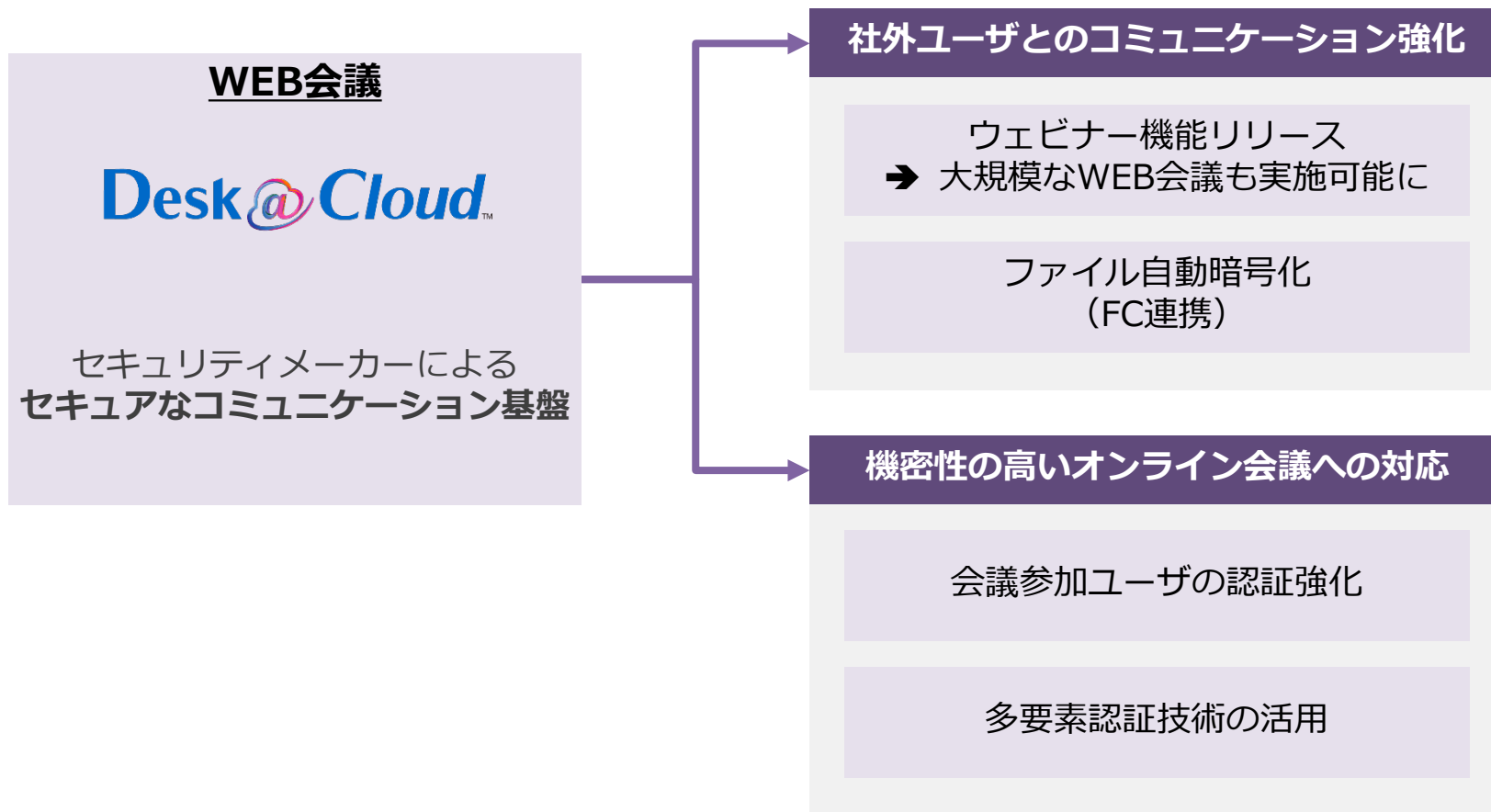


ファイル無害化ソリューション連携

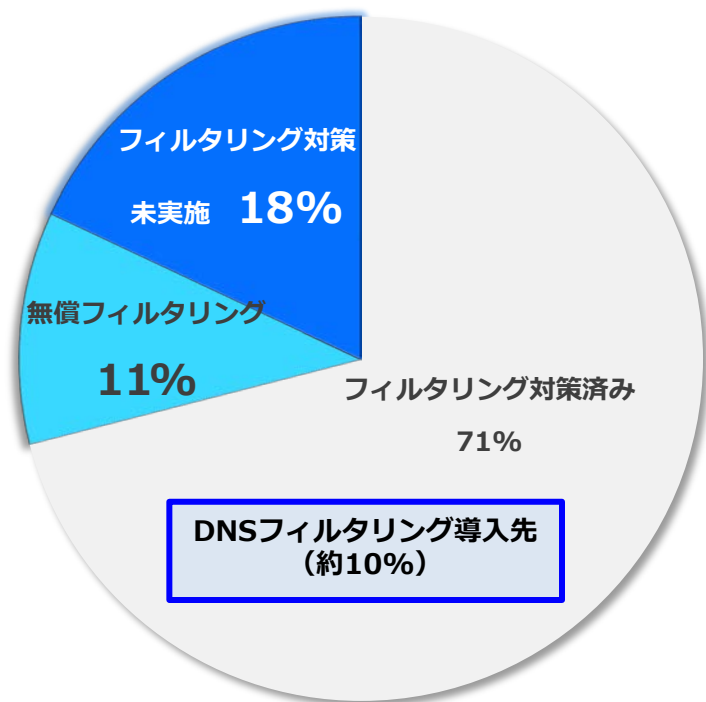


*出典: デロイト トーマツ ミック経済研究所株式会社「内部脅威対策ソリューション市場の現状と将来展望 2020年度(<https://mic-r.co.jp/mr/01910/>)」電子メールフィルタリング・アーカイブツール出荷本数(社数) (2019年度) (2020年12月発行)

社内利用から、動画配信プラットフォームと同等の映像性能と
より強固なセキュリティを確保したWEB会議システムへ



GIGAスクール後半戦のターゲット*1



- 教育委員会全体の**約40%**が後半戦のターゲットポテンシャル
- **GIGAシェアNo.1***2として、圧倒的な顧客提供価値（製品価値・利便性・コスト）でシェア拡大を狙う
- 外部セミナーに登壇し、フィルタリングの必要性と当社製品の優位性を訴求

*1：児童・生徒数3,000名以上の651教育委員会へのヒアリング結果（2021年3月 当社調べ）

*2：2021年3月当社調べ

セキュリティクラウドと強靱化案件対応は2022年度が主戦場となるが、一部が2021年度に入札される見込み

公共案件ロードマップ

項目	対象	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
政府	中央省庁					ISMAP 制度運用 開始	案件ごとの対応				
							予算取り	入札/更新			
セキュリティクラウド	都道府県	71億円				調達ガイドライン 改定	21億円 移行予算	更新			
							延長	予算取り	入札/更新		
強靱化	都道府県 市区町村	164億円				調達ガイドライン 改定	予算未定	更新			
							延長	予算取り	入札/更新		

2020年12月の調達ガイドライン改定に基づき、
行政手続きのオンライン化やテレワークの推進など時代のニーズに合わせ、
情報セキュリティを維持しつつも、**効率性・利便性**を高めることも必要に

対策アウトライン

「三層の対策」の見直し
(αモデル以上のセキュリティ対策)

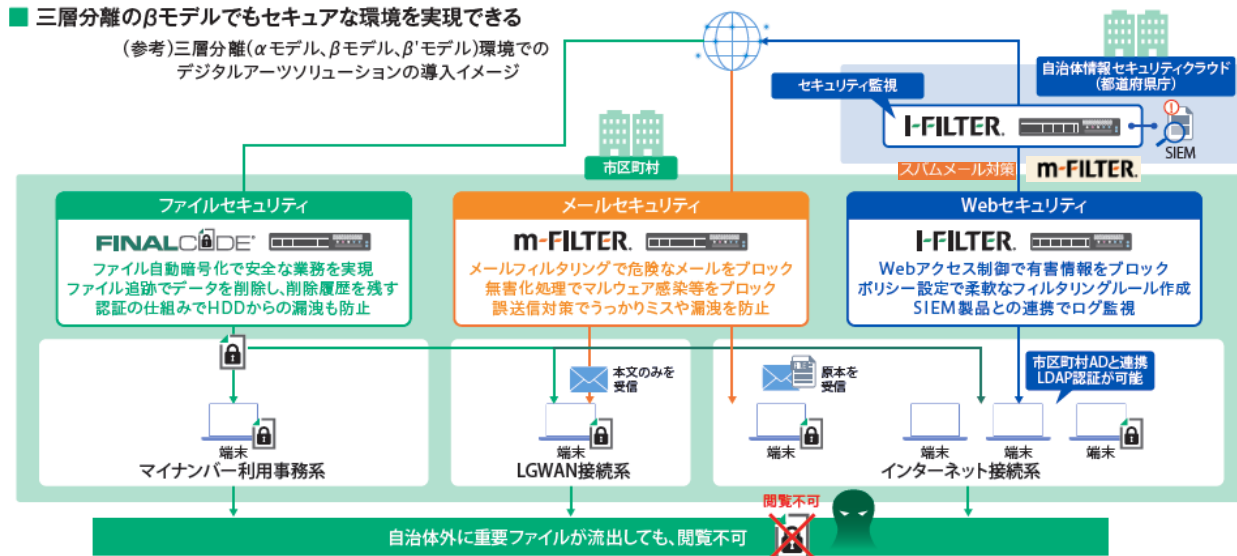
リモートアクセスのセキュリティ
(マルウェア対策など)

「脱PPAP」運用への対策
ファイルの暗号化対策

自治体向けソリューション全体像

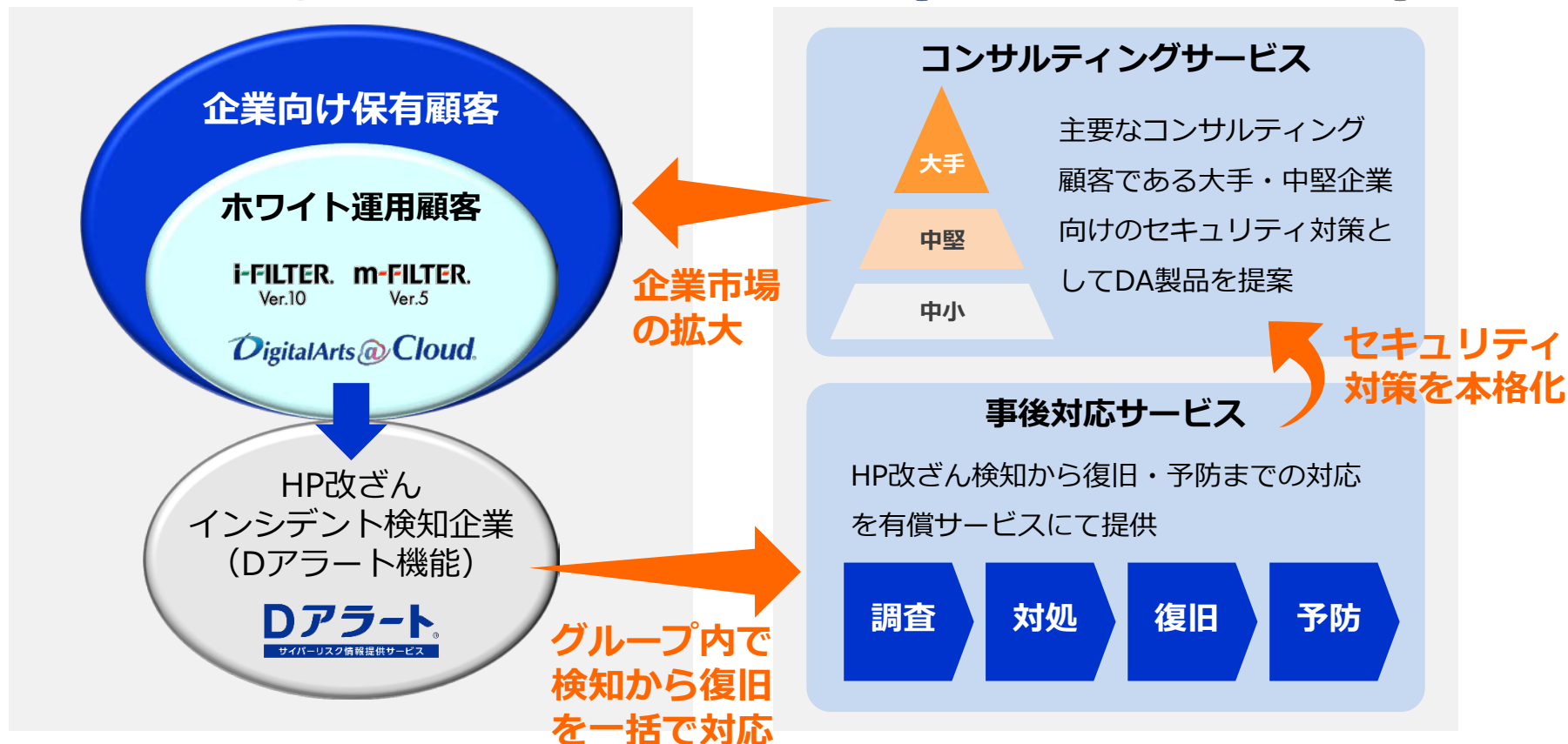
■ 三層分離のβモデルでもセキュアな環境を実現できる

(参考)三層分離(αモデル、βモデル、β'モデル)環境でのデジタルアーツソリューションの導入イメージ



対策アウトラインのすべてを
デジタルアーツ製品の組み合わせで対応可能に

DACコンサルティング顧客へのDA製品の提案により企業向け市場を拡大
“Dアラート x DAC” で「検知」から「復旧」をワンストップで対応可能に



2022年3月期 第1四半期決算補足説明資料

2022年3月期 株主還元

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

2022年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の **35.8%**

2022年3月期年間剰余金配当予想額は1株当たり **65.00円**

年間で1株当たり**10.00円**の増配予想

	1株当たり配当金（円）			連結配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
2021年3月期	25.00	30.00	55.00	37.4%
2022年3月期（予想）	30.00	35.00	65.00	35.8%

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的
事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。

本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等
の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する
趣旨のものではありません。

今後、重要な変化がある場合は適宜開示します。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨て
て表示しています。

- デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、Active Rating System、D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、DアラートおよびDコンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

DigitalArts®

-より便利な、より快適な、より安全な
インターネットライフに貢献していく-